

事務事業名	花いっぱい運動推進事業				担当	教育委員会 生涯学習課 生涯学習係		
政策名	D	自然と潤いがある安全快適なまちづくり			電話番号	0285-82-7151		
施策名	06	良好な環境づくりの推進			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
基本事業名					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		
法令根拠						<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 昭和50 年度～）		
予算科目	1. 一般会計	10. 教育費	4. 社会教育費	3. 公民館費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域公民館活動事業の一環として、道路愛護と地域のコミュニティを更に深め、併せて地域内を花で飾るために実施している。</li> <li>・事務の流れ</li> <li>前年 1 2月種子の申込受付 3月種子の配付 5月参加する地域公民館より肥料の申込 6月植え付け計画書及び肥料の配付 7月各地区ごとに地区役員による植え付け審査の実施 8月市民館連絡協議会役員による予備審査・市長、議長等による植え付け審査の実施 10月市民館連絡協議会の研修会に合わせ、表彰式の実施</li> <li>・種子（サルビア・マリーゴールド）、肥料、表彰の経費は市の予算より支出</li> <li>・表彰にもれた参加賞の経費については、市民館連絡協議会より支出</li> <li>・植え付け場所は、地域公民館敷地、道路沿い、道路沿いの花壇</li> </ul>							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動） 22年度実績 ・種子の申込受付 ・種子の配付 ・肥料の申込受付 ・計画書及び肥料配布 ・地区審査 ・予備審査 ・本審査 ・表彰式  23年度計画 22年度に同じ	⑤ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移								
	名称		単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	
	ア	申込地域公民館数	館	52	49	74	77	80	
	イ	種子の配布量		790	780	984	1050	1100	
	ウ	肥料の配布量		393	440	543	598	650	
	エ								
	オ								
② 対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 地域公民館	⑥ 対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移								
	名称		単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	
	ア	地域公民館数	館	108	108	166	166	166	
	イ								
	ウ								
	エ								
	オ								
③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 地域の連帯感及び環境美化を図る	⑦ 成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移								
	名称		単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	
	ア	花いっぱい運動へ参加した地域公民館数	館	52	49	68	77	80	
	イ								
	ウ								
	エ								
	オ								
④ 結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 地域の力による美しい環境づくり	⑧ 上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移								
	名称		単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	
	ア	地域の環境美化が図られた地域公民館の割合	%	48.1	45.4	40.9	46.3	48.1	
	イ								
	ウ								
	エ								
	オ								
(2) 総事業費の推移									
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
			県支出金	千円	0	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	0	0
			一般財源	千円	569	621	693	1,011	0
	事業費計(A)			千円	569	621	693	1,011	0
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	0	
		延べ業務時間	時間	80	80	80	80	0	
		人件費計(B)	千円	335	334	324	341	0	
	トータルコスト(A)+(B)			千円	904	955	1,017	1,352	0
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等									
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？		<ul style="list-style-type: none"> <li>・昭和50年頃から道路愛護の観点より道路をメインにカンナ、サルビア等が主な花として取り入れられた。</li> <li>・また一つには、栃木国体が開催され本市も「花で選手達を迎えましょう」を合言葉に全地域公民館が参加して進められた。</li> </ul>							
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？		<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路事情の変化等もあり、道路から地域公民館周辺への植え付けが多くなり、花も背丈の低いものになり、植え付け作業・その後の管理等花を通じて地域づくり、環境美化、人と自然とのかわりによるゆとりと安らぎの気持できる花いっぱい運動へと変化してきた。</li> <li>・また、当初からは参加公民館が減ってきている。</li> </ul>							
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？									

2. 1次評価の部 \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 地域を花で飾ることは、市の施策の環境美化に繋がる。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 地域を花で飾ることは、地域住民にゆとりと安らぎを感じさせることと植え付け作業・管理等を通して地域の連帯感が生まれ地域の活性化が図れる。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 対象が市内の全地域公民館であり、適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 参加していない公民館に対して、花の育て方、市長賞を受賞した公民館の作業日程等を記載したマニュアルを配付し、花いっぱい運動の概要を理解してもらい、参加するよう働きかける。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 環境美化や地域の連帯意識が薄れる。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない 類似事業はない。
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 種子代、肥料代等にかかる最小限の事業費で実施している。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 参加希望の取りまとめ、種子の配布、肥料の配布、審査にかかる最低の人件費である。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 種子と肥料は、市で支出しているが管理については、地元で負担している。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し( <input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							